

あなたと議会を結ぶ

# りっとう議会だまり

No. 181  
2017年2月1日発行

発行/栗東市議会 編集/議会広報編集特別委員会 〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目 13番33号  
TEL 077-551-0137 FAX 077-551-0146 メールアドレス/ gikai@city.ritto.lg.jp

## 第5回 子ども議会

第5回  
栗東市子ども議会



### 委員会報告 3

各常任委員会が議案を審査

### 個人質問 5

議員がそれぞれのテーマについて聞きました

### 子ども議会 11

第5回子ども議会を開催しました

平成28年12月定例会は、市長から提案された21議案（人事2件、条例5件、予算9件、その他5件）と請願書について審議しました。



# 12月定例会

## 人事

人権擁護委員に、  
大橋 美智子氏  
上田 玄雄氏

任期満了に伴い、大橋美智子氏、上田玄雄氏の2名を推薦することについて、意見を求められました。  
(適任・全)

## 条例

### 一部改正

市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例  
人事院勧告に伴う特別職の国家公務員の期末手当の改定に準じ、市長、副市長、教育長の平成28年12月及び平成29年度における期末手当の支給月数等、所要の改正を行うものです。  
(可決・全)

職員給与に関する条例及び職員勤務時間、休暇等に関する条例  
人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じ、職員給与月額、平成28年12

月及び平成29年度における勤労手当の支給月数等、所要の改正を行うものです。  
(可決・全)

### 手数料徴収条例等

自動交付機による印鑑登録証明書の交付と、住民基本台帳カードの他目的利用の終了時期を延長する等の改正を行うものです。  
(可決・全)

特定教育・保育施設の利用者負担に関する条例  
特定地域型保育事業に係る利用者負担額を徴収できるように、所要の改正を行うものです。  
(可決・全)

### 新たな条例

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例  
農業協同組合法等の一部を改正する等の法律第2条の規定により改正された農業委員会等に関する法律の規定に基づき、農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数等を定めるものです。  
(可決・全)

## その他

おうみ自治体クラウド協議会規約の変更について  
基幹系システムの共同利用を進めるおうみ自治体クラウド協議会に近江八幡市が参加することに伴う規約の改正について、関係普通地方公共団体が協議することにつき議会の議決を求めます。  
(可決・全)

防災拠点施設建設工事  
契約の締結について、議会の議決を求めます。  
◎建築工事  
契約金額 4億716万円(税込)  
契約相手方 三東・たち建設工事共同企業体  
(可決・全)

電気設備工事  
契約金額 2億5207万2000円(税込)  
契約相手方 アアン・さんでん建設工事共同企業体  
(可決・全)

保育園・幼稚園・幼児園自給食調理等業務委託  
契約の締結について、議会の議決を求めます。  
契約金額 3億715万2000円(税込)  
契約相手方 一富士フードサービス株式会社  
(可決・全)

市道 1路線認定  
開発による道路の寄附

帰属のため、岡区内8号線を認定するものです。  
(可決・全)

## 請願書

原発事故による避難者向け無償住宅支援の継続及び住宅支援の復活を求める意見書の提出を求める請願書  
請願者・原発事故避難者の住宅支援継続を求める滋賀の会  
佐藤勝十志氏

請願の内容  
政府は、福島原発事故による広域避難者への無償住宅支援を、住民の帰還する意思や条件の有無にかかわらず2017年3月に打ち切る方針だが、生活再建の見通しがない中では帰還困難になること等から、避難者向け無償住宅支援の継続及び住宅支援の復活を求める意見書を、国や福島県に提出するよう請願するものです。  
(不採択・別表)

採択結果の後に、「別表」とある議案の採択結果については、下の表をご覧ください。「全」とある議案は全員一致で可決されましたので表への記載は省略しています。

## 賛否が分かれた案件の採決結果一覧

多=賛成多数 少=賛成少数 ○・・・賛成 ●・・・反対

| 会 派 名   | 新 政 会 |       |       |      |       |       |       |       |       |      |       | 公明    | 再生   | ネットワーク |       | 共産党   |
|---|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|--------|-------|-------|
|   | 藤田 啓仁 | 上田 忠博 | 片岡 勝哉 | 武村 賞 | 谷口 茂之 | 田中 英樹 | 三木 敏嗣 | 小竹 庸介 | 野々村照美 | 國松 篤 | 櫻井 浩司 | 田村 隆光 | 林 好男 | 中村 昌司  | 大西 時子 | 伊吹みちえ |
| 件 名   | 採決結果  |       |       |      |       |       |       |       |       |      |       |       |      |        |       |       |
| ■ 請 願 書   |       |       |       |      |       |       |       |       |       |      |       |       |      |        |       |       |
| 原発事故による避難者向け無償住宅支援の継続及び住宅支援の復活を求める意見書の提出を求める請願書 | 少     | ●     | ●     | ●    | ●     | ●     | ●     | ●     | ●     | ●    | ○     | ○     | ○    | ○      | ○     | ○     |

\*議長(寺田範雄議員)は採決に加わらない  
\*党派名の正式名称は次のとおり  
公明→公明栗東 再生→栗東再生市民派クラブ ネットワーク→栗東市民ネットワーク 共産党→日本共産党議員団





## 平成28年度 一般会計・特別会計補正予算

| 会計名                          | 補正額               | 予算総額          | 主な内容        | 採決結果 |
|------------------------------|-------------------|---------------|-------------|------|
| 一般会計                         | 18億9,720万3千円 (増額) | 267億9,202万3千円 | 教育費・土木費等の増額 | 可決・全 |
| 土地取得特別会計                     | 214万8千円 (減額)      | 14億5,612万1千円  | 公債費の減額      | 可決・全 |
| 後期高齢者医療特別会計                  | 88万2千円 (増額)       | 5億4,051万6千円   | 総務費の増額      | 可決・全 |
| 介護保険特別会計                     | 123万2千円 (増額)      | 34億1,244万6千円  | 地域支援事業費の増額  | 可決・全 |
| 大津湖南都市計画事業栗東駅前土地地区画整理事業特別会計  | 4万8千円 (増額)        | 5,459万4千円     | 土木費の増額      | 可決・全 |
| 大津湖南都市計画事業栗東新都心土地地区画整理事業特別会計 | 37万1千円 (増額)       | 8,226万1千円     | 土木費の増額      | 可決・全 |
| 水道事業会計                       | 627万9千円 (減額)      | 20億6,660万9千円  | 営業費用の減額     | 可決・全 |
| 公共下水道事業会計                    | 5,733万6千円 (減額)    | 32億4,986万3千円  | 建設改良費の減額    | 可決・全 |
| 農業集落排水事業特別会計                 | 8万3千円 (増額)        | 3,184万5千円     | 農林水産業費の増額   | 可決・全 |

★本会議の様子を視聴できます★



栗東市議会ホームページで  
<http://www.kensakusystem.jp/ritto-vod/index.html>

本会議録画映像

栗東市議会 インターネット中継

検索

# 委員会報告

## 防災拠点施設建設工事の

## 請負契約の締結等について

### 総務常任委員会

当委員会は、付託された議案8件について審査しました。

契約の締結につき議会の議決を求めることについて、委員からJ・V(共同企業体)に運用されているのか、との質疑に対し、当局から、入札基準の内規により、工事の性格等に照らしてJ・Vによる施工が必要と認められる場合は適用している、との答弁がありました。

市長、副市長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について、委員から、人事院勧告による特別

職への影響額は、との質疑に対し、当局から試算では、市長・副市長・教育長で約26万円、議員で約68万円である、との答弁がありました。平成28年度一般会計補正予算について、委員から①金融機関の利子について、②過誤納還付金の要因は、との質疑に対し、当局から

①当初は1.5%を見込んでいたが、政府資金で0.1～0.2%、銀行等引受では、0.2～0.675%の間である。②大半が個人市民税に関わる申告等の修正で、確定申告で過去1年から3年程度の所得税の修正申告が多く提出

されているため、過誤納金が生じている。修正がある限り適正に対応していく必要がある、との答弁がありました。当委員会に付託された8議案について、その他の多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。



▲防災拠点施設のイメージ

## 環境建設常任委員会

### 新農業委員会関連条例等を審査

当委員会は、付託された議案8件、請願書1件について審査しました。

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める

る条例の制定について、委員から①報酬の額等を定めた別表の備考に、「この表に定める額とは別に、能力給として予算の範囲内で市長が定める額を支給できるものとする。」とあるが、能力給はどのように判断するのか。

②会長職務代理者の役割は。また、委員より報酬の額を高くする理由は、との質疑に対し、当局から①今年度の途中で、国が農地利用最適化交付金という制度を設けた。交付金

全体の3割は、活動実績として、残りの7割は、成果実績としてポイント制で交付される。

現時点では、国の方向性等が定まっていないため、今後、県や他自治体の動向を見て検討する。②農業委員会の規定に定める、従来の副会長としての職務を担っていただく。また、会議等への出席回数が多く、責任も伴うため、報酬の額を委員より高く設定している、との答弁がありました。

平成28年度一般会計補正予算について、委員から、農政対策経費について、農業委員・農地利用最適化推進委員の公募予定は、との質疑に対し、当局から、1月末に説明会を開催し、2月6日から推薦・公募する予定であ

る、との答弁がありました。

当委員会に付託された8議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、原発事故による避難者向け無償住宅支援の継続及び住宅支援の復活を求める意見書の提出を求める請願書について、採決の結果、採択すべきものと決しました。



## 文教福祉常任委員会

### 一般会計補正予算等を審査

当委員会は、付託された議案5件について審査しました。

特定教育・保育施設の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定

について、委員から、特定地域型保育事業を実施する施設は増える見込みか、との質疑に対し、当局から、増える見込みで、待機児童の縮小に資すると考えている、との答弁がありました。

平成28年度一般会計補正予算について、委員から①地域介護・福祉空間整備推進事業の国の補助率は。②防犯カメラ等の施設での設置状況と今後の見込みは。③保育園臨時職員配置事業について、臨

時職員の応募がなかった保育園は。また、臨時職員の待遇改善は、との質疑に対し、

①国庫補助が2分の1で、1施設あたり180万円が上限。②一部設置済み

の園ではなく、全体数として月額雇用の33人分を44人の時間給雇用で対応した。来年度に向けた国の公定価格見直しの中で上積みされると聞いており、本市でも対応に向けた新年度予算協議を行っている、との答弁がありました。

平成28年度介護保険特別会計補正予算について、委員から①高齢者生きがい活動促進事

業の内容は。②事業実施にあたっての市の考

えは、との質疑に対し、当局から①昨年度開講の栗東100歳大学の第1期卒業生37人の今後の活動支援。②卒業生が大学での学びを活かし、活動を通じて市民と交流することで福祉分野での活躍につなげたい、との答弁がありました。

当委員会に付託された5議案について、その他多くの質疑の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。



# 個人質問

12月12日・13日の2日間、11人が質問しました。  
質問と答弁の要旨をお知らせいたします。  
なお、紙面の都合上掲載を省略している質問も含め、市のホームページにて本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。  
議員の似顔絵は栗東高等学校美術科似顔絵制作チームにご協力いただきました。

| ページ | 質問者   | 質問事項  |
|-----|-------|---|
| 5   | 藤田 啓仁 | 子育てのための12か条の推進、健やかな子育て支援について                          |
|     |       | 子どもたちの快適な学習環境の整備について                                  |
|     |       | 企業事業資金貸付金の回収について                                      |
| 6   | 三木 敏嗣 | 地域包括支援センターについて  |
|     | 田中 英樹 | 本市における産業の今後について                                       |
|     |       | 女性活躍推進について  |
| 7   | 大西 時子 | 住宅困窮者の受け皿確保について                                       |
|     |       | 栗東西図書館について  |
|     | 野々村照美 | 医療用ウィッグ(かつら)の助成について<br>市営住宅について                       |
| 8   | 谷口 茂之 | 職員の人材育成について(やりがいを持った職員づくりを目指して)                       |
|     | 櫻井 浩司 | 旧RD最終処分場について  |
| 9   | 武村 賞  | スポーツ少年団などの練習環境の整備について                                 |
|     |       | 栗東健康運動公園の整備計画について                                     |
|     | 中村 昌司 | 本市の空家等対策の推進について                                       |
| 10  | 林 好男  | 放課後児童支援員の資質向上への取り組みについて                               |
|     |       | 学童保育施設の現状について   |
|     | 片岡 勝哉 | 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱い及び調査結果の活用について<br>本市のICT教育について |



## 子育てのための12か条の推進、 健やかな子育て支援について

藤田 啓仁 議員

**問** 本市では、平成27年度より地域振興協議会で子育てのための12か条の推進をされているが、今後の対応を問う。

**答** 本市が先進的に進めてきている青少年健全育成の取り組みは、改善も加え、一層力を入れて進める。

**問** 進めるために、スムーズに子育て効果が期待できる組織とは。

**答** 子どもの成長に合わせた、いろんな形で手だてができる環境を作れるように、市として最大限努力していきたい。

**問** 子どもたちの快適な学習環境の整備について

**答** 小中学校をはじめ、公共施設における耐用年数を超えたトイレの改修計画を問う。

**答** 施設の長寿命化計画を平成32年度までに策定し、優先順位をつけて、トイレの改修も併せて計画に盛り込んで学校施設環境の充実を図っていきたい。

**問** 市内各小学校へのエアコン設置をする意向だったが、具体的な設置に向けたスケジュールを問う。

**答** 全体の財政的ボリュームを次年度確認し、できるだけ早い時期に実現したい。



**問** 企業事業資金貸付金の回収は

**答** 住民訴訟において、市側の勝訴判決があり、貸付に違法性がないと認められた。「貸したものは返してもらおう」という毅然とした姿勢を示して、返済を求める決意を問う。

**答** 厳しく、これから返済に向けた協議を進める決意である。弁護士等協議も行いながら前へ進めていく。



# 個人質問



## 地域包括支援センターについて

三木 敏嗣 議員

**問** 相談件数と内容は。

**答** 今年度の11月末現在、栗東市地域包括支援センターでは、延べ1286件

で、介護保険サービスの相談が54%、高齢者虐待の相談が12・5%、疾患の相談が8.2%である。7月1日に開所した葉山地域包括支援センターでは、延べ357件であり、介護保険サービスの相談が57・7%、介護の相談が12%、疾患の相談が9.8%である。

**問** どのように相談を解決されているのか。

**答** 高齢者が尊厳を持つて暮らし続けられるよう、近隣の人・民生児童委員をはじめ地域の関係者・介護保険サービス事業者・医師・

歯科医師・訪問看護ステーションの看護師・薬剤師・栄養士等の多職種と、地域ケア個別会議を開催し、地域で暮らせるように話し合いを実施しているところである。また、複合した課題を抱えた事例では、市の関係各課とも連携を図り継続して支援をしている。

**問** 相談窓口に来られる方への、親身な対応と今後の課題は。

**答** 新規の方には、じっくりとお話しを聞かせて頂いており、相談内容によって、実際の生活を把握した

ほうが良い場合には、自宅も訪問している。個々の事例を通して見えてくる地域の課題をまとめ、地域課題解決のために、地域でできることは地域で実施できるよう、関係機関がまちづくりの一環としてすすめていくことにより、すべての市民が暮らしやすい地域づくりの構築（地域包括ケアシステムの構築）を図る必要がある。



▲葉山地域包括支援センターが入る淡海荘

## 本市における産業の今後について

田中 英樹 議員

**問** 本市における直近の産業別割合を問う。

**答** 平成26年経済センサスの売上額では、製造業が36・5%、卸売業・小売業が34・3%、その他、建設業や運輸業・郵便業など幅広い業種である。従業員数割合で特に多いのは、製造業である。

**問** 本市において、今後、伸びる産業・支援する産業について問う。

**答** 本市の地理的優位性・交通利便性を背景とした、製造業や運輸業・郵便業が伸びていくと思われる。環境・新技術・物流関連産業の企業立地を推進する。

**問** 空きテナントの状況と、チャレンジショップ事業の現況を問う。

**答** 空きテナントの現況は、実態を把握してい

るところであり、空き工場や空き倉庫についても、ノウハウを活用して、広がりを見せていけるように取り組む。チャレンジショップ事業では、栗東ウイングプラザの空きテナントを活用し、現在5店舗が出店されている。

### 女性活躍推進について

**問** 本市で起業した人のうち女性が占める割合と、今後の対応について問う。

**答** 県における女性の起業割合は、女性1割に対し男性9割と分析している。今後、現行制度にかかる周知・啓発を行うとともに、女性が創業しやすいような取り組みを留意し検討する。

**問** 働きたくても働けない女性が、子育て世代である30代を中心に多く、就業率が低い原因について、本市の考えを問う。

**答** さまざまな要因がある中で、保育の受け皿不足や育児休業後の雇用問題など、仕事と子育てが両立できるための社会的な環境整備が不足していることが大きな要因であり、保育施設の受け皿の対応等も必要であるが、保育士不足が一番大きいと考える。



▲栗東ウイングプラザ

# 個人質問



## 住宅困難者の受け皿確保について

大西 時子 議員

**問** 出庭団地は、建て替  
え後もシルバーハウジ  
ングなどの単身者向けの団地  
として位置付けられている  
が、60歳以下の単身世帯の入  
居は可能か。

**答** 60歳以下の単身世帯  
の入居は確保していな  
いが、障がいをもっておられ  
たり生活保護等、その他の生  
活が困難で住宅に困窮されて  
いるという一定の条件があれ  
ば単身での入居も可能である。

**問** 年2回の入居者募集  
では少ないのではない  
のか。

**答** 多くの住宅団地にお  
いて、申し込み件数が  
募集件数を下回るとともに、  
一極集中的な申し込みとなっ  
ていることから、募集は2回  
としている。

倍率の高いところで、抽選  
に漏れた方については、それ  
以外の申し込みがなかったと  
ころへのあっせんをしている。

栗東西図書館について

**問** 栗東駅前にあるとい  
う利便性の高い図書館  
である。週1日の休館とし、  
週1日は午後8時まで開館と  
することはできないのか。

**答** 平成21年の財政再構  
築プログラムによる見  
直しの中で、本館・西館を維  
持するために、週2日の休館  
としている。平成18年から  
21年3月まで、週2日午後8  
時まで開館していたが、夜間  
の利用が少なく、費用対効果  
を検討した中で、取りやめた  
経過がある。延長については、  
現在考えていない。

**問** 書籍消毒機の導入の  
考えは。

**答** 高額のうえ保守が必  
要であり、現段階での  
導入予定はない。



## 医療用ウィッグ(かつら)の助成について

野々村 照美 議員

**問** がん患者にとつて、  
がん治療の副作用によ  
る頭髮の脱毛等は精神的にも  
苦痛が伴う。治療、就労に前  
向きに取り組めるように外見  
的支援の一部公費助成の考え  
は。

**答** 予防対策として、国  
で科学的に有効性が証  
明された「がん検診」につい  
て実施し、市民への啓発に努  
めたい。抗がん剤の治療や他  
の治療の副作用、あるいは外  
傷により外見的な悩みへの支  
援については、実施にあたり  
広く市民の理解が得られるよ  
う、今後、先進事例等も参考  
にしながら研究していく。

市営住宅について

**問** 公営住宅法には、住  
宅に困窮する低額所得  
者に対して低廉な家賃で賃貸  
するとあるが、市営住宅にお  
ける収入超過者や高額所得者  
の現状と対応は。

**答** 市営住宅管理条例に  
基づき、7月の収入申  
告時点で、収入超過者が42名、  
高額所得者が1名である。収

入超過者には、住宅の明け渡  
しの努力義務が発生し、2年  
間連続で高額所得者となる場  
合は退去を求めている。

**問** 超高齢化社会を迎え  
るが、今後、高齢者向  
け住宅として民間企業とタイ  
アップし、民間住宅を借り上  
げ住宅として活用する考えは。

**答** 市営住宅では、空き  
住宅を抱えていること  
から、入居できるように市営  
住宅の整備改善の検討をする  
中で、今後の高齢化社会への  
対応を見据える必要があると  
考えており、民間住宅を活用  
しての借り上げ住宅について  
は、現時点では考えていない。



▲市営住宅 下戸山団地



# 個人質問



## やりがいを持った職員づくりを

谷口 茂之 議員

**問** 行政のプロとして自信をもって仕事にやりがいを感じ、市民のために全力で働いていただきたいと考えるが、職員に元気がない原因を、どう認識しているのか。

**答** 職員は、課題、市民対応等に、一生懸命取り組んでいるが、その中で自分のモチベーション維持に苦慮していると感じる。

**問** 12月から「さわやかあいさつ運動」を行っているが、その背景は。

**答** 市民に対して、また職員同士も挨拶が少なく、市役所全体の一体感が希薄化していると思われることから実施している。

**問** 一番多い職員で年間700時間超も残業しているが、心身のケアは。

**答** 医師の面談等、労働安全衛生法に基づき対応をする。

**問** 個人の資質を高める研修の工夫と資格取得に対する補助を。

**答** 既に一部の研修で選択制を実施。資格取得への補助は、メニューを含め検討しなければならないと考える。

**問** 政策研究グループ作りや職員提案を事業化する等、組織活性化策を考え、実施すべきでは。

**答** 新たな政策の生み出すが、活性化につながる。その観点も踏まえ、検討する。

**問** 異動調書を利用し、強制的に管理職と面談するなど職場のコミュニケーションを良くする方策を。

**答** 個別面談は大変有効であり、実施する必要がある。

**問** 正規職員を増やさず安易に臨時・再任用職員を配置し、技の伝承とやる気をそいでいるのでは。

**答** 臨時職員は、正規職員の休職代替と事務補助を行う。再任用職員は雇用と年金の接続目的で運用しており、各持ち場で経験に基づく市民サービスの提供等、市政運営に貢献してもらっている。



## 旧RD最終処分場問題について

櫻井 浩司 議員



**問** 本年10月に浸透水の一部分から硫化水素が検出された。微量とはいえ周辺住民にとっては、とても心配になる事案だと思うが、県の対応は、工事情報の備考欄に小さく記載しただけで、周辺自治会に対して何の説明もない。この件に関して県・市連絡協議会では、市に対してどのような説明があったのか。

**答** 市に対しては、工事情報に記載された翌日に連絡を受けた。常に情報を共有して進めていく中で、今回の情報提供の遅れについては、はなはだ遺憾であり、今後、数値が大幅に上昇するところが確認されれば、直ちに連絡するように申し入れた。

**問** 周辺自治会と県の信頼関係について、以前、県は周辺自治会に対し県案への同意を求めたが、周辺自治会からは不同意の結論が出た。同意を得られなかった県は市に対して同意を求める手法を用い、市では臨時会を開催し、10対8で可決となった。にもかかわらず、県はその案を反故にし、異なる案により進めたといい経緯がある。今後再

**答** 三日月知事が就任時、旧RD最終処分場問題連絡協議会に出席し、県として責任を持って対応する旨の表明をされたことに重きを感じている。このことを踏まえ、市としては、周辺環境への配慮はもとより、年次計画に沿って確実に対策工が履行され、発生した疑義や問題については、周辺自治会の理解が得られ確実に対策が講じられるよう進言していく。そのことが県・周辺自治会・市、相互の信頼関係の維持につながると考えている。



▲旧RD最終処分場工事現場



## 個人質問



### スポーツ少年団などの練習環境の整備について

武村 賞 議員

**問** スポーツ少年団などは、練習場の確保に大変苦労されている。特に、サッカーは練習場等が少なく、隣接市には、サッカー専用のグラウンドがある。未来を託す子どもたちが、好きなスポーツを元気に出来る環境整備が必要である。厳しい財政状況を考えると体育館等の建設は困難であるが、財政を圧迫しない範囲で総合スポーツ広場の整備が必要ではないか。

**答** 教育施設等については、学校施設等の大規模改造等の多くの課題もあり、当面は、困難と考えている。

栗東健康運動公園の整備計画について

**問** 今日まで、用地買収にかかった費用および補助金は。

**答** 用地買収費の総額は33億2500万円、補助金は1億2600万円である。

**問** 多額の事業費を投入して用地買収されたが、事業は長年休止状態である。

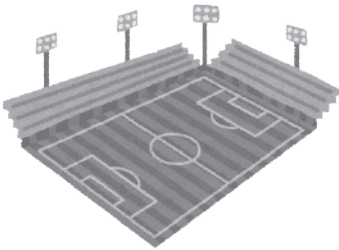
市の財政状況を踏まえると早期の整備は困難と考えるが、いつ頃、どのように、整備されるのか。

**答** 事業認可の期限の平成32年度末までに、一定の方策を定めた。

**問** 平成32年度末に、健康運動公園計画を見直しされる時は、サッカー場の整備を検討されたい。

また、サッカー場の整備にあつては、最大3分の2の助成があるスポーツ振興くじ助成の対象となるので、前向きに考えられたい。

**答** サッカー場の整備にあつては、平成32年度末に健康運動公園計画を見直す時点で、必要性等も含め、広く検討していきたい。



### 空家等対策の推進について

中村 昌司 議員

**問** 空家等の対策を進めるうえで、現状の空家等の実態を把握することは必要であるが、空家等の対象をどのように定義し、どのような方法で実態把握されているのか何う。

**答** 空家等対策の推進に關する特別措置法第2条に基づき、戸建ての住居および店舗付き住宅を含む店舗で、概ね6ヶ月以上、居住や営業等のため使用していない建物とし、共同住宅や工場、倉庫等は含んでいない。把握は各自治会にお願いし、空家と思われる物件の報告をいただいた後、市による現地調査を実施している。

**問** 空家等対策の具体的な取り組みの一つとして、「空家等対策検討協議会」があるが、「空家等対策計画」策定に向けてこの協議会とどのように連動していくのか何う。

**答** 「空家等対策検討協議会」は、空家等の分布状況や管理状況等の調査に基づく現状把握と課題整理を行う。この整理の内容等を、空家等対策の推進に關する特別措置法に基づく「空家等対策協議会」に移行し、「空家等対策計画」の策定に向けて取り組むものである。

**問** 空家等の対策で、周辺環境に悪影響を及ぼす「特定空家等」が特に問題となっている。この「特定空家等」に対する措置の促進について何う。

**答** 空家等対策の推進に關する特別措置法に基づき、助言・指導・勧告・命令と段階を経て実施することになると考えている。



# 個人質問



## 学童保育支援員の資質向上研修の取り組みについて

林 好男 議員

**問** 放課後児童健全育成事業の「実施主体」、「運営主体」および「事業者」の定義は。

**答** 「実施主体」は市町村、「運営主体」および「事業者」は、指定管理委託等の委託先である。

**問** 放課後児童支援員の認定資格研修の内容と計画およびその進捗と本市の認定研修対象人数は。

**答** 支援員として必要な知識および技能を補完し、その役割や内容の共通理解を得るために実施されている。国の基準では、各支援単位の支援員が最低1人とされる中で、本市は資質向上のため、指導員全員を研修対象と位置付けており、昨年の受講生は10人、今年度は17人である。

**問** 放課後児童支援員等資質向上研修の取り組みと実施状況は。

**答** 市の職員研修へ参画する形で、指定管理者独自の研修も実施されている。今後のあり方については、委託先の事業者と研修の持ち方を協議していく。

**問** すべての現任指導員を対象に、実施主体である市が主体的に取り組めるか。

**答** 事業者とともに今後の方向性を協議していく。

## 学童保育施設の現状について

**問** 今後の増築改修計画は。

**答** 今年度は葉山東学童の増築と、来年度は大宝学童の増築工事を行う。

**問** 大宝学童は昭和62年に建築され、老朽化とともに児童数の定数も超過傾向にある。何らかの手立てが必要では。

**答** 状況判断の中で、間ができるように現状を見て判断していく。



▲大宝学童保育所

※SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）…社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家のこと。

**問** 平成28年度の調査結果を基にした「栗東市の学ぶ力向上策」の根拠とは。

**答** 質問紙と教科に関する調査の結果のクロス集計から明らかになったことである。

**問** 子どもの貧困と学力の関係が取り沙汰されている。児童生徒の生活状況と学力の関係についての分析は。

**答** 文部科学省の分析結果では、就学援助率の低い学校の方が、学力が高い傾向にあったことは承知している。

**問** SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）の活動実績は。

**答** 葉山小学校に県費で1名派遣されており、今年度1学期間で支援を行った児童は約100人、児童家庭福祉機関と連携して支援した児童は、延べ26人である。

**問** 県費だけでなく、SSWを市費で配置できないか。

**答** 検討する。

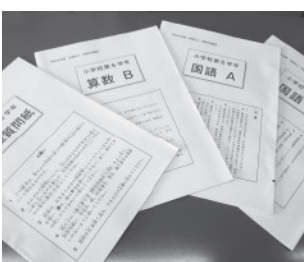
## ICT（情報通信技術）教育について

**問** 「平成27年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」から見える本市の情報教育施設整備における課題は。

**答** 校内LANをはじめ、電子黒板・実物投影機や教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数などは、国の第2期教育振興基本計画で目標としている水準に満たない状況にあり、改訂された学習指導要領での教育の開始年度から考えても今後計画的に整備できるように、努力する。

**問** 教育投資を「未来への先行投資」として位置づけ、市の中長期財政見通しで見込むべきでは。

**答** 必要であれば見込んでいく。



▲全国学力学習状況調査 問題用紙



## 第5回子ども議会を開催しました

平成28年11月27日、市内小学校6年生の18人が、子ども議会議員となり、栗東市の現状や課題について提案・質問し、市長・教育長が答弁しました。名前、質問事項を紹介します。なお、詳しくは後日、市のホームページに掲載しますのでご覧ください。



①葉山東小学校  
四ノ宮 茉叶 議員  
・誰もが暮らしやすい栗東市をつくるためにどうすればよいか



中村 優里 議長



松尾 未咲 議長



⑤金勝小学校  
宮下 実希 議員  
・栗東市の学校にエアコンをつけること



④治田小学校  
工藤 凜香 議員  
・犬のフンを減らすことについて



③治田小学校  
中野 巧揮 議員  
・福祉施設の防犯対策の取り組みについて



②金勝小学校  
大石 瑠希 議員  
・障がい者への理解を進めるために出来ること



⑩大宝西小学校  
山元 天翔 議員  
・学校の環境をよくすることに



⑨大宝小学校  
増本 梨沙 議員  
・公園でのボール使用について



⑧大宝東小学校  
川原崎 真優 議員  
・「くりちゃん」で栗東市をアピールすること



⑦治田西小学校  
坂下 知聡 議員  
・栗東市が豊かになるための取り組みについて



⑥葉山小学校  
竹中 真理亜 議員  
・安全な歩道の整備について



⑭ 大宝西小学校  
中村 優里 議員  
・ロープウェイやポールの本を増やすこと  
などの遊具や図書室



⑬ 治田西小学校  
徳田 ひなの 議員  
・地産地消について



⑫ 葉山東小学校  
里内 愛佳 議員  
・ごみのポイ捨て防止とごみを減らすための取り組みについて



⑪ 葉山小学校  
高野 倅大朗 議員  
・中学校での給食について



宮下 実希 議長



⑯ 大宝東小学校  
松尾 未咲 議員  
・市内の小学校の交流を深めるために私の学校PR新聞を発刊すること



⑰ 治田東小学校  
雨堤 一真 議員  
・街灯を増やすことについて



⑯ 治田東小学校  
文岡 いるみ 議員  
・学校のエアコンについて



⑮ 大宝小学校  
濱本 実優夏 議員  
・自転車事故を減らす取り組みについて



山元 天翔 議長

## 傍聴 にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。  
開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。

(ただし、3月14日・17日は13時30分)

日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承下さい。

また、手話通訳者の配置をご希望の方はお早めに議会事務局へ連絡をお願いします。

● 問い合わせ 議会事務局(市役所4階)  
TEL : 551-0137 FAX : 551-0146  
☑ : gikai@city.ritto.lg.jp

### 3月定例会の予定

|         |                    |
|---------|--------------------|
| 2月27日   | 本会議(議案上程等)         |
| 3月 6日   | 本会議(代表質問)          |
| 7日      | 本会議(代表質問・個人質問)     |
| 8日~ 9日  | 本会議(個人質問)          |
| 10日~15日 | 予算常任委員会            |
| 16日~17日 | 総務・環境建設・文教福祉各常任委員会 |
| 23日     | 本会議(委員長報告・採決)      |

(土・日・祝を除く)

## 編集後記

今号に掲載されている子ども議会は、昨年11月27日に開催されました。

子ども議会は、将来の栗東市を担う子どもたちに、自分のまちをよく見つけ、議会の役割を知ることにより、市政への関心とまちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることを目的としたもので、これまでの提案の中には、実際に施策化されたものもあります。

さて、12月定例会では、「平成28年度一般会計補正予算」をはじめ、議案21件、請願書1件について審議いたしました。

また、次回の3月定例会では議会改革の一環として取り組んでまいりました、予算審査のあり方が見直されます。予算常任委員会を設置し議員全員が所管する各常任委員会の区別なく予算について審査を行います。本会議や委員会審査の様子はどなたでもご自由に傍聴いただけますので実際の会議の様子をぜひご覧ください。

市民の皆様におかれましてはまだまだ寒さ厳しい日が続きますが、お体ご自愛いただき、今後とも議会に対しましてご指導いただきますようお願いいたします。

議会広報編集特別委員会

(委員長) 林 好男 (副委員長) 國松 篤  
(委員) 田村 隆光 片岡 勝哉 伊吹みちえ  
野々村照美 三木 敏嗣

